



全国紙の連載・企画やコラムを中心に

注目度高い大型インタビューに経済人登場

単発記事と違い、連載やコラムは定期的に掲載され、連載終了後に書籍化も期待できることから露出効果は抜群。連載・コラムは各紙の違いや問題意識も浮き彫りにする。媒体分析を行い露出につなげたいところだ。全国紙5紙における近年の連載・コラム、特設面で企業が登場するものを中心にまとめた。注目したいテーマは、「大型インタビュー」「就活・働き方」「科学面」の3つだ。

若者向け人物企画相次ぐ

各紙大きなスペースを割いているのが著名人のロングインタビュー・聞き書きだ。定番コラムとして、日経朝刊「私の履歴書」、同夕刊「人間発見」「こころの玉手箱」、読売朝刊「時代の証言者」、産経「話の肖像画」などは注目度が高い。

日経夕刊の2コラムは週単位、ほかは1か月単位での掲載が多い。朝日朝刊「語る」は文化人がメイン。別刷りではないが、日曜折り込みのカラーページ「NIKKEI The STYLE」内に見開きで掲載される「My Story」も大型のインタビュー記事だ。生い立ちやプライベートの趣味といった側面にも焦点を当てている。朝

がメインで、後者が財界人も頻繁に取り上げているといった違いがある。

「新しい資本主義」テーマ

岸田文雄内閣が掲げる「新しい資本主義」というフレーズを受けて、「資本主義」と銘打つ大型企画が相次いで登場している。読売「岐路の資本主義」(1月～)、朝日

「資本主義Next」(5月～)が目を引く。「岐路の資本主義」は1月の第1部に続き、5月に「独占」をテーマにした第2部を掲載。デジタル化に伴う巨大ITなどの市場独占をテーマとした。

各紙独自の企画も健在だ。現役大学生記者による毎日の夕刊「キャンパス」(第2・4火曜)は、大学生の就職活動に関する記

全国紙の注目の連載・企画・コラム・面(一部)

| 媒体名 | 特設面・連載・コラム名 | 概要 | 掲載頻度 | 面積 (cm ²) |
|--|---|---|-----------|-----------------------|
| 朝日 | 私の履歴書 | 各分野の著名人に対する半生記の聞き書きを月単位で連載。約半数が現役あるいは元企業トップなどの経済人 | 月～日曜朝刊 | 312 |
| | My Story | 日曜折り込みのカラーページ「NIKKEI The STYLE」内に見開きで掲載される著名人の大型インタビュー | 隔週日曜朝刊 | 2611 |
| | 私の課長時代 | 現役経営者が自身の「課長時代」の経験について2週にわたって語るユニークなインタビュー | 水曜朝刊 | 286 |
| | Next1000 | 中堅企業を取り上げる「Next1000」面を5月にリニューアル。対象の企業を売上高100億円から300億円に引き上げ、「Focus注目企業」枠を新設した。新興企業を取り上げる水曜朝刊の「スタートアップ」面は継続 | 隔週月曜朝刊 | 10段 |
| | 大学生など若い世代向けに社会人への橋渡しを意図した面。池上章によるコラムが目を引くが、特に随時掲載のインタビュー「先輩に聞く」「新興人図鑑」などが就活生を意識した内容 | 月曜朝刊 | 10段 | |
| 火曜は「ビジネス・テック」面として一つの面をビジネス面と分割する形で掲載。企業の研究開発動向がメイン | 火・金曜朝刊 | 10段/15段 | | |
| 朝日 | フロントランナー | 土曜朝刊別刷り「be on Saturday」の看板インタビュー。社会で活躍する人物を広く取り上げる | 土曜朝刊別刷り | 2114 |
| 朝日 | 凄腕つとめにん | 優れた職能を有する職業人を紹介する名物連載。そのテーマから、大企業の社員の登場頻度も高い | 月曜夕刊 | 1046 |
| 朝日 | 池井戸潤が撮る日本の工場 | 土曜「be on Saturday」に掲載の作家・池井戸潤による全国各地の工場訪問記。見開きのカラー写真が視覚的なインパクト大 | 土曜朝刊別刷り随時 | 2711 |
| 朝日 | 資本主義NEXT | 経済面で5月にスタートした企画。初回シリーズ(全10回)は「グリーン成長の虚実」をテーマとした | 随時朝刊 | 変動 |
| 朝日 | 働く(面) | 労働や職場環境といったテーマに特化した面。1月から「テレワーク考」を随時掲載 | 月曜朝刊 | 6.4段 |
| 朝日 | 科学・環境(面) | 4月に「科学」面から名称を変更。木曜夕刊「環境」面は「エコ&サイエンス」面に変更 | 火曜朝刊 | 6段/6.4段 |

※表の連載等のごく一部です。詳細なデータは有料で提供しています。デスクワン・アナリシス事業部までお問い合わせ下さい。
☎03(3813)7661

主に若い世代を対象としたインタビューや人物コラムも相次ぐ。朝日「Breakthrough 突破する力」は、掲載媒体の「GLOBE」が4月に別刷りから本紙折り込みにリニューアルした中でも継続。読売が2021年4月に月曜夕刊でスタートした「NEXT BREAK」も続いている。

似たテーマ設定のコラムでも、各紙で違いも出る。朝日「一語一会」と読売「言葉のアルバム」は、いずれも金曜夕刊に掲載されるインタビュー記事で、前者は人生に影響を与えた言葉、後者は本人の座右の銘をそれぞれ軸としているが、それ以上に前者は文化人・芸能人

※記事面積は目安